

## 八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| 会 議 名     | 平成 28 年 11 月 八王子市生涯学習審議会  |  |
| 日 時       | 平成 28 年 11 月 8 日（火） 午後 7 時 00 分～9 時 00 分  |  |
| 場 所       | 八王子市生涯学習センター 第 2 学習室  |  |
| 出席者氏名     | 委 員   | 三浦眞一 岡本夢乃 炭谷晃男 浅井揚三 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子<br>加藤方浩 小林正博 丹間 康仁 永村 隆 村上ひろみ 守屋和広                |
|           | 事務局   | 瀬尾生涯学習政策課長 新井学習支援課長 村田南大沢図書館長 中村中央図書館長 福田川口図書館長 塩澤生涯学習政策課主査 川久保生涯学習政策課主事 平野生涯学習政策課主事 |
| 欠席者氏名     |   |  |
| 議 事 案 件   | <b>議題</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の予算編成に向けて</li> <li>・平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催について</li> </ul>   |  |
|           | <b>報告事項</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・都市社連協 第 3 回役員会・拡大役員会について</li> <li>・平成 28 年度 全国社会教育委員連合 第 2 回総会について</li> <li>・第 58 回全国社会教育研究大会千葉大会について</li> <li>・教育委員会定例会における関連事項について</li> </ul>  |  |
| 配 付 資 料 名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の予算編成に向けて</li> <li>・平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会</li> <li>・都市社連協 第 3 回役員会・拡大役員会 資料</li> <li>・平成 28 年度 全国社会教育委員連合 第 2 回総会 資料</li> </ul>  |  |
|           | <b>1 . 開 会</b><br><b>2 . 定足数の確認</b> 出席者 13 名、会議の成立を確認<br><b>3 . 会議録署名委員</b> 柴田委員を指名<br><b>4 . 事務連絡</b><br><br>( 1 ) 委員の変更の変更について<br>9 月 30 日付で、柴田彩千子委員が生涯学習審議会を退任され、10 月 1 日から本市の教育委員に任命されている。後任として、10 月 1 日付で丹間康仁氏を新たに生涯学習審議会委員として委嘱した。<br><br>( 2 ) 文部科学大臣表彰（社会教育功労者表彰）の決定について<br>本市議会の三浦眞一会長が被表彰者として決定した。平成 6 年に社会教育委員就任後、社会教育委員会議長や読書のまち八王子推進連絡協議会会長、図書館協議会会長、生涯学習審議開会長、東京都市町村社会教育委員連絡協議会 |  |

長を歴任され、現在に至るまで多年に渡り、提言・助言をいただき会議のとりまとめをされた功績が評価されたものである。11月10日に文部科学省にて表彰式が執り行われる。

報告者：生涯学習政策課長

#### 4. 議 事

##### 議事案件1

**平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の予算編成に向けて**  
東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下、「都市社連協」という。）の今後の方向性については、7月19日に開催された、「平成28年度都市社連協 第1回理事会」において、「収入に見合った運営を行うこと」について提案し、承認された。事前に行った照会で削減案として提示した、活動報告書作成に伴う印刷費や会場使用料の削減については、各市町により事情が異なり、全体で統一を図ることが難しい状況である。一方で、統一した削減が可能なものとして、ブロック活動費を、これまでの6万円を平成23年度以前と同額の4万円に戻すことを一案とし、11月8日付で各市町に再度意見照会を行っている。来年度の予算編成に向け、本市においても委員の意見をいただきたい。

会 長：29市町が参加している都市社連協は、各市町1万5千円の分担金を収入としており、この収入により運営を行っている。平成22年度に全国社会教育委員連合の関東甲信越静社会教育研究大会（東京大会）の開催に伴い、準備資金として毎年10万円ずつ積み立てを行っていたが、実際には東京都教育委員会事務局で予算計上されたため、都市社連協としての負担がなくなった。この積立金を一般会計に繰り入れたことにより、都市社連協の繰越金が一時的に多くなったという経緯がある。その後の定期総会において、繰越金が多額であるという意見があったことから、この数年予算執行率を向上させる運営を行ったことから繰越金が減少した要因である。繰越金が減少している現在、役員会ならびに理事会において「年間の収入に見合った運営を行う必要がある」という意見を各市の委員からいただいている。

委員：多摩市生涯学習審議会においても検討した。概ね提案どおりで賛成するが、前回の照会にあった削減具体案の一つ「総会終了後の研修会において講師を委員から選出すること」については、いかがかと思う。

事務局：削減する方法論の一つとして例示したものとして捉えていただきたい。

生涯学習政策課長：該当の資料については、7月19日の理事会開催にあたり各市町に事前の意見調査を行った際の資料であり、例示されているものについては、先ほどの事務局の説明のとおり、統一した対応が難しい状況であった。そのため理事会では、「収入に見合った運営を行うこと」と、統一して取り組める削減方法として「ブロック

活動費の削減」については、概ね合意を得られたと理解し、改めて「ブロック活動費の削減」について各市町に意見照会していることである。

委員：ブロック活動費は、多ければ多いほうが良いかもしれないが、財政状況によりやむを得ない。存続が危ぶまれるような状況になってしまうことは避けなければならない。妥当である。

会長：毎年、発行している活動報告書についても、立派なものができるが、このようなものについても、各市で取り組めることについては積極的に削減に取り組んでいただきたいと考えている。他に意見はあるか。年間の収入に見合う運営すること、それに伴う削減をすることが良いということ为本市の意見としてよろしいか。

一同：同意

## 議事案件2 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催について

開催内容については都市社連協理事会において承認され、開催案内を各市町に送付した。当日の役割分担及びタイムスケジュールについて、資料のとおり提案する。これについて意見をいただきたい。

会長：本年度は八王子市が会長市であるため、協力をお願いする。当日は事務局もサポートしていただく。ただいまの説明について、意見・質問はあるか。講師について説明を。

事務局：国立極地研究所という南極・北極の調査研究を行っている機関の所長である。ご本人は子どもの頃から「南極に行きたい」という夢をもっており、ご自身の体験から、子どものころからの夢をいかに実現したか、という視点からお話いただく。

会長：ここ数年、都市社連協の講演は学術的な話が多かったため、一度方向性を変え、実体験者としての話をしていただきたいと考えている。

### 報告事項

・都市社連協 第3回役員会・拡大役員会について

10月18日(火)開催。当審議会から三浦会長と事務局が出席した。

・報告事項

(1)平成28年度都市社連協ブロック研修会について

11月5日をもってすべてのブロック研修会が終了。12月に開催する交流大会において、各ブロック幹事市から報告する。

(2)平成28年度都市社連協表彰について

現在、各理事宛に候補者の推薦依頼中。表彰は来年4月に開催する定期総会にて行う。

(3)平成29年度都市社連の分担金等について

各市の予算編成にあたり、分担金及び全国社会教育研究大会等の参加費を報告

・協議事項

(1) 平成 28 年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会について開催内容(プログラム及び講演会)について協議。承認

(2) 平成 28 年度「社会教育委員活動記録」の編集について毎年発行している「社会教育委員活動記録」を今年度も作成することについて協議。構成は例年同様、ブロック研修会や交流大会、各市の取り組みについて掲載する。承認

(3) 平成 29 年度都市社連協の予算編成に向けて(意見照会)議事案件 1 で報告している内容について、各市に照会を行うことについて協議。承認

・平成 28 年度 全国社会教育委員連合 第 2 回総会について

10 月 26～28 日の期間、全国社会教育委員研究大会が開催された。大会期間中である 10 月 27 日に「全国社会教育委員連合 第 2 回総会」が開催され、三浦会長と事務局が出席。

(協議事項)

(1) 今後の全国社会教育委員研究大会について、平成 29 年度は北海道、平成 30 年度が青森県、平成 31 年度が兵庫県で開催することについて提案 承認

(2) 理事の欠員により、同県からの補充について提案 承認

(3) 次年度の役員の決定に向けて、選考委員について提案 承認

(4) 組織のあり方について、会費の値上げや社教情報の必読化、全国大会開催における助成金の引下げ等については継続審議とする。承認

(報告事項)

寄付金について全国約 2 万人ほどの社会教育委員のうち 800 名程の方から 281 万 7 千円の寄付があった。

・第 58 回全国社会教育研究大会千葉大会について

三浦会長、石川委員、碓井委員、小倉委員、岡本委員、炭谷委員、丹間委員と事務局が参加した。表彰式では、都市社連協から昭島市の長瀬委員が受賞された。また、基調講演では、株式会社オリエンタルランド執行役員人事部長の金木有一氏により、「社会に役立つ人づくり」というテーマで講演が行われた。2 日目は、5 つの分科会に分かれそれぞれは参加された。

会長 : 参加された委員は感想を。

委員 : 全国社会教育連合の行事に初めて参加した。講演もすばらしかったが、特に全国様々な県からの参加者と交流することができ、有意義な時間を過ごすことができた。

委員 : 全体会では、「子どもの頃からどう人を育てるか」という観点での話が特に響いた。分科会では、他県の委員と話す機会があったが、自分の活動と、他県の取り組みが共通している点が多くあると感じ

た。全体をとおして、図書館や読書活動に関する話題がなかったので、来年に向けて関心がある。(全国組織のあり方について議論されているが) 全国大会は隔年開催でもいいのではないかと感じた。

委員 : 自分の活動と重ね合わせ、自らの活動を評価するような気持ちでいた。地域で活動する立場として貴重な機会であった。

委員 : シンポジウムが印象的。3名のシンポジストの取り組みは多岐に渡るが、共通して確認できたことは、「子どもを軸にした学校・家庭・地域の連携」であり、少子化が進む現代において、まちづくりをどのように行うか、考えていかなければならないと感じた。

委員 : オープニングやイベントなど、八王子市で開催するとしたら、と置き換えて考えて見ていた。この全国大会で学んだことを、参加者それぞれが自身の活動に繋げていけたら良い。

委員 : 講演やシンポジウムに感銘を受けた。自分の実践にも役立ち、このような機会が刺激になり勉強になった。

会長 : このような機会でも得られるものがあるので、次回もぜひ参加を。

・教育委員会定例会における関連事項について

教育委員会定例会の議事案件の中から生涯学習関連事項について報告

報告者：生涯学習政策課長

会長 : 学習支援課及び図書館部から報告事項はあるか。

学習支援課長 : 例年9月に「青年ライブステージ」を開催している。今年は9月25日に実施し、26組が参加した。日ごろ音楽やダンスによる活動している団体が、ステージで本格的な音響・照明のなかで発表する機会を提供している。延べ700人ほどが来場した。また、例年の事業としては、「生涯学習フェスティバル」や南大沢分館の「総合センターまつり」、川口分館の「やまゆり館まつり」がある。それぞれ好評にて終了した。

生涯学習政策課長 : 「生涯学習フェスティバル」では、市民講座として防災をテーマにした講座を行った。3部構成で長時間であったが、大変好評で1部からほぼ満席となった。また、大学生に子どもを対象にした体験コーナーのブースを担当してもらった。その他のブースについても、多くの方に参加いただいた印象である。

南大沢図書館長 : 机上に配布した「らいぶらりい」という冊子について、年4回発行している。図書館におけるイベントの情報や、実施したイベントの報告等を掲載している。

会長 : 次回は、来年1月17日(火)生涯学習センターにて開催する。詳細は別途事務局より通知をする。本日の会議は以上をもって終了する。

5 . 閉 会

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員